

滝沢村役場周辺地区

(岩手県 滝沢市) H26年1月1日より市政移行

- 計 画 期 間 平成24年度～平成28年度
- 面 積 215.6ha
- 交付対象事業費 3,580.6百万円
- 市人口 55,113人(地区内人口 4,547人)

ポイント 市の中心部としての都市機能の集約により、地域みんなが主体となった活動が盛んに行われ、交流と賑わいにより、経済も循環することで持続していくまちづくりの構築につながった。

地区概要 さまざまな活動が複合化され、一つの拠点で実施することで、交流と賑わいが生まれるプロジェクト「みんなでつくるふれあいの大屋根」⇒ビッググループ滝沢を中心とした、地域を活性化させるためのまちづくりを実施。

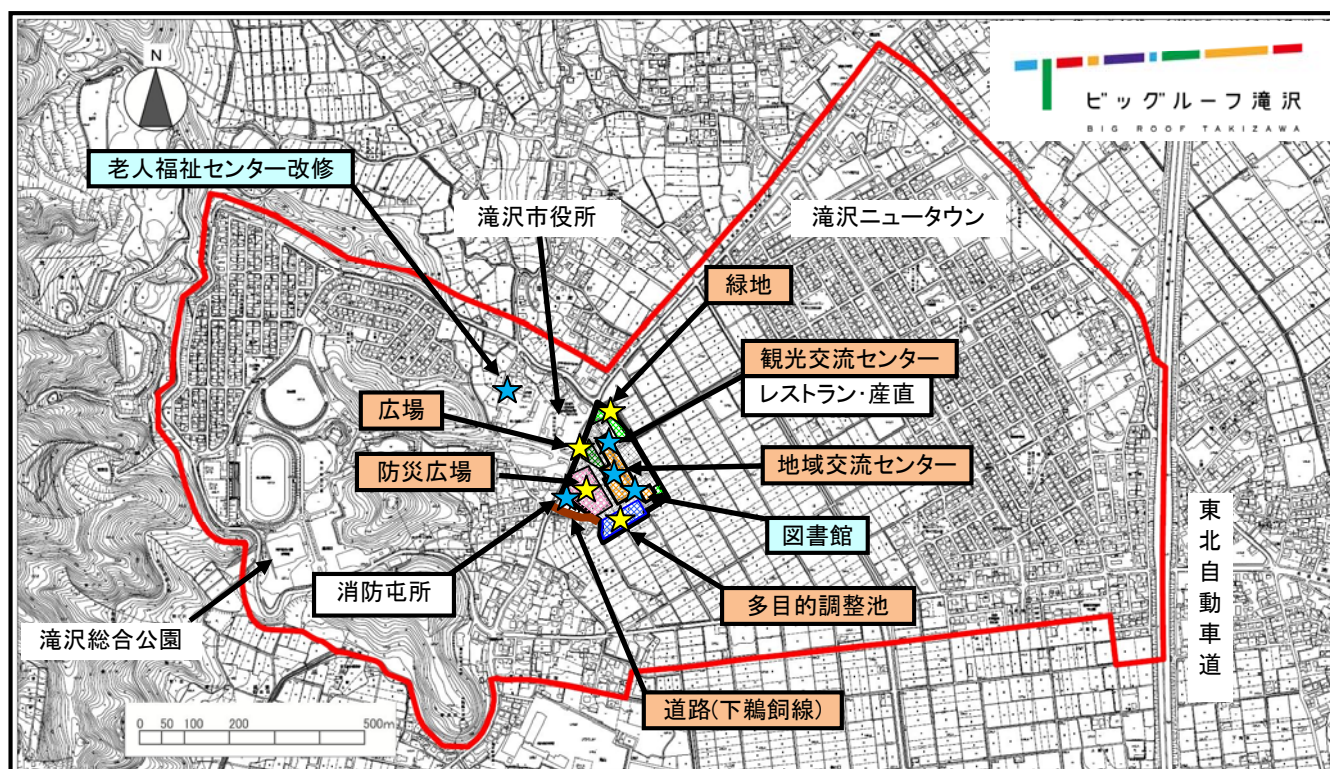
- 目 標** 大目標:魅力ある行政・公益施設ゾーンを創出し、交流と学習による活力あるまちづくりの拠点とする。
- 目標1:公共施設等を整備し、住民の生活利便の向上を図る。
- 目標2:市の情報発信・ブランド創出の拠点を整備し、交流人口の拡大を図る。
- 目標3:市内の大学や人材の活用と交流の促進し、住民活動の受け入れ先としての組織の強化を図る。

指 標 ビッググループ滝沢を拠点とした地区内の交流の促進を図るため、この場に携わる人とその活動を直接的に評価できる指標として設定した。

地域交流センターと図書館の利用者数	25,065人 (H22)	→	496,159人 (H29)
コミュニティ交流回数	5回 (H22)	→	34回 (H29)
周辺のイベント回数	5回 (H22)	→	33回 (H29)

事業内容 基幹事業(2,604.2百万円)→高次都市施設(ビッググループ滝沢:地域交流センター3,722㎡・観光交流センター171㎡)、地域生活基盤施設(防災広場6,577㎡・多目的調整池5,872㎡・広場987㎡・緑地2,992㎡)、道路(106m)

提案事業(976.4百万円)→地域創造支援事業(図書館1,503㎡・老人福祉センター改修1,119㎡)



地区の現況と課題

旧滝沢村は、民間開発による急激な人口増加により広がったため、本地区には役場庁舎や総合公園等の公共施設が集積したエリアにも関わらず、市の中心部になりきれておらず、さらに人口規模に対して地域の活動の場が制限されていたことが課題となっていた。

提案事業の特徴

【図書館の移築】 既存の図書館は、旧公民館内に併設されている県内最少規模の図書館となっていたことから、基幹事業である地域交流センターや観光交流センターの整備に合わせて移築し、4倍規模の図書館とすることで、複合化と拠点化による相乗効果を図った。

まちづくりの効果、持続的取り組み

ビッグルーフ滝沢を中心としたまちづくりにより、施設開業から1年で約50万人の来場者が訪れ、交流と賑わいが創出された。また、複合化と拠点化により、異業種間交流が行われ、地域のみんなによる新たな出会いや取り組みにもつながっている。

施設は、指定管理による運営であるが、利用料金制度の採用や減免制度の廃止により、運営者も稼ぎ、地域に還元され、経済が循環することで、持続的な運営により、更なる活性化を図っていきたい。

滝沢市長のコメント

本事業は、構想段階から住民参加型ワークショップを行いながら、整備後も交流と賑わいをみんなで作ってあげてきました。今回の受賞につきましてここに携わったみんなの成果だと思います。

これからも「みんなでつくりつづけるふれあいの大屋根」として、ビッグルーフ滝沢から地域を活性化させ、エリア全体の価値を高めていくまちづくりをみんなで取り組んでいきたいと思っています。

岩手県立大学 狩野先生のコメント

市民が中心になりワークショップを実施して、居室カルテを作成しました。市民の想いを一つ一つ調整し、納得しながら、現状に見合った規模・使いやすさと震災の経験も反映しました。設計着手後も、まちづくり・建築のワークショップの専門家を加え、具体的な提案を形にしました。ここでも自分たちが使いこなせることを前提に、使い手としての意見を出し合いました。

更に、完成した今も、この流れを継承し、市民自身が使い方を提案しながら、みんなで育てる地域の拠点として成長させています。地域住民が自分たちで育て続けているまちづくりとなっています。

松森木工所 松森代表のコメント

木工職人として、家具の魅力と地域の魅力がプラスされたストーリー性のある家具を、子供たちと一緒にビッグルーフ滝沢に作りたい！ そう決意し、暮らしと共に成長するインフィル家具「Haaal（ハール）」が誕生しました。私の想いと地域のストーリーが詰め込まれた家具です。

未来志向の木工ものづくりで、ストーリーと人を繋いでいく。それが子供たちやこの地に対する、私らしい「愛」の表現と思っています。

現在ビッグルーフ滝沢周辺の空き家をリノベーションし、新しい価値創出を目的とした場所「Flat Open Space “iMA5”（アイマファイヴ）」の運営も着手し、地域内外のヒトモノコトの「合間」をつなぎ、「HaaalL」、「ビッグルーフ滝沢」と共に、成長し続けるエリアの創出を目指します。



▲ビッグルーフ滝沢全景



▲ビッグルーフ滝沢 1階 平面図



▲ふれあい広場での紙芝居



▲クッキングレッスンでのワンディッシュプロジェクト



▲地域と一緒に開催した「たきざわ盆まつり」



▲子供たちの絵でデザインされる「HaaalL」